

# 「八尾市をあげて、将来の御茶ノ水博士を育てよう！」 第4回八尾ロボットフェア 開催報告！



▲会場は観客でいっぱい！

2月11日（土・祝）アリオ八尾 レッドコート広場にて、第4回八尾ロボットフェアが開催されました。八尾ロボットフェアは、「八尾市をあげて、将来の御茶ノ水博士を育てよう！」をスローガンに、八尾の製造業を中心としたものづくり企業の異業種交流会である「マテック八尾」が主催し、今年で4回目となります。今回の八尾ロボットフェアでは、「ジュニア大会」（八尾市内の中学校対抗戦）と「一般大会」（市内の企業と高専・大学等チーム戦）の2つのロボットコンテストが開催されました。

各大会の出場チームにお話しを伺うことができました。

## ●「ジュニア大会」第3位：南高安中学校の皆さん

Q：ロボットは中学生の皆さんが自ら作成・設定されたそうですが、どのように勉強されたのですか？

A：「マテック八尾」が行う中学校でのロボット教室（全5回）を受講し、自主研究を重ねました。

Q：製作過程で苦労した点や工夫した点はありますか？

A：ジュニア大会は、事前にロボットのプログラムを設定し、競技場内のラインに沿ってロボットがうまく走行できるか競う競技です。製作ではその設定に苦労しました。また競技場内には障害物を迂回して進む箇所があり、特にそのプログラムの設定に力を入れました。難しい設定でしたが何度も試行錯誤するうちに、うまくできるようになり、どのチームにも負けない自信が出てきました。



▲南高安中学校の皆さん



▲休憩中もプログラムを調整

## ●「一般大会」優勝：新芽交流会の皆さん

Q：「新芽交流会」さんは、どんな方々がいらっしゃいますか？  
また製作過程で苦労した点や工夫した点はありますか？

A：私達は奈良高専OBの交流会であり、今大会のメンバーは社会人が中心です。社会人ですので時間が無く、職場も違うことからメンバー同士の会う機会が少なく、製作期間が短かったことに苦労しました。そこで時間とコストを削減するため、モーターやベアリング以外のロボットの部品はホームセンターで木材を調達し組み立てました。ホームセンターを活用すればロボットも作れるんですよ（笑）。

（取材：つどいスタッフ 西野 光）



▲新芽交流会の皆さん

八尾経営・技術交流会「マテック八尾」

<http://www.matec-yao.com/index.html>



▲スピードのあるアームで箱を積み上げる